



第104号
発行人
(一財) 福井県剣道連盟
会長 片山 外一
事務局
〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18
サンライズニの宮 1-B
TEL・FAX (0776)28-6616
メール fkiendo@herb.ocn.ne.jp

中学校の部は 男子 中央中A

女子 今庄中・南越中が優勝

一般男女の部は 男子 県学校剣道連盟

女子 福井工業大学Aが制覇

第66回福井県剣道大会

中学校の部

令和元年九月二十一日(土)

一般男女の部

令和元年九月二十三日(月)

於 福井県立武道館

第六十六回福井県剣道大会は、九月二十一日に中学校の部が、九月二十三日に一般男女の部が、県立武道館において開催されました。

中学校の部には、男子三十九チーム、女子二十六チームが参加、一般男女の部には、男子二十チーム、女子七チームが参加し、熱戦を繰り広げました。

また、二十三日の開会式では、福井県剣道連盟の発展に功績のあった四名の個人に対する功労賞、全国大

会・ブロック大会において優秀な成績を収めた選手に対する優秀選手賞の表彰が行われました。

○中学校男子の部

優勝 中央中学校A(鯖江市)



第二位 気比中学校(敦賀市)
第三位 明倫中学校(福井市)

○中学校女子の部

優勝 今庄中学校(南越前町)

第二位 南越中学校(越前市)

第三位 中央中学校A(鯖江市)

明倫中学校(福井市)



○一般男子の部

優勝 福井県学校剣道連盟

第二位 福井刑務所A

第三位 福井県警察本部機動隊

○一般女子の部

優勝 福井工業大学A

第二位 三方地区剣道連盟

第三位 越前市剣道連盟



【有功賞】

山田 芳靖(若狭地区剣道連盟)
山下 博幸(越前市剣道連盟)
宮川 透(坂井地区剣道連盟)
上嶋 啓芳(敦賀市剣道連盟)

【優秀選手賞】

(第六十一回全国教職員剣道大会
女子個人の部 優勝)

大西 ななみ

(第四十回北信越国民体育大会
成年女子の部 準優勝)

高嶋 寿美

山田 聖子

大西 ななみ

女子個人の部

大西ななみ選手が初優勝
第61回全国教職員剣道大会

令和元年八月十一日(日)
於 鹿児島県薩摩川内市
サンアリーナせんだい

八月十一日に鹿児島県薩摩川内市
サンアリーナせんだいにおいて開催
されました「第61回全国教職員剣道
大会」において、本県の大西ななみ
選手が女子個人の部で初優勝を果た
しました。



また、男子個人の部で林田匡平選
手がベスト8、渡邊龍二郎選手が団
体試合優秀選手に選ばれました。

○団体戦

一回戦

福井県 4-1 沖縄県

渡邊 コメー 城間

林田 メメー 嘉手納

西川 コメーメ 久田

小辻 ーコ 又吉

柳原 メー 宮平

二回戦

福井県 3-1 兵庫県

渡邊 ドー 柳田

林田 コー× 隠岐

西川 コー 宮崎

小辻 ーメメ 秋山

柳原 メー 長納

三回戦

福井県 0-2 茨城県

渡邊 ドーメ 山下

林田 ツーメ 中根

西川 ード 安田

小辻 ーメ 鍋山

柳原 ーメ 西野

ベスト16

優秀選手(団体試合)

渡邊龍二郎

○男子個人の部

林田匡平

二回戦 メー 山崎 洵(秋田)

三回戦 メメー 出雲大輔(鳥取)

準々決勝 ー延メ山下和真(茨城)

ベスト8

○女子個人の部

大西ななみ

二回戦 メメー 若松千春(福島)

三回戦 メー 柘植未来(岐阜)

準々決勝 延メー 小松澤映史子(茨城)

準決勝 延メー 遠山絢子(愛知)

決勝 メメー 安藤陽子(兵庫)

優勝



大会報告行事報告

第11回全日本都道府県対抗
女子剣道優勝大会

令和元年七月十三日(土)
於 日本武道館

2回戦

福井県0/0 1/1 神奈川県

先鋒 奥村 ード 尼岡

次鋒 堤腰 ー 北條

中堅 大西 ー 松本

副将 山田 ー 谷嶋

大将 高嶋 ー 千葉



19県民スポーツ祭
剣道競技「高等学校の部」

令和元年七月十三日(土)
於 福井県立武道館

男子団体の部

優勝 敦賀高等学校A

準優勝 美方高等学校

第3位 福井工大福井高等学校B

第3位 福井工大福井高等学校A



女子団体の部

優勝 福井工大福井高等学校B

準優勝 敦賀高等学校A

第3位 丸岡高等学校

第3位 敦賀気比高等学校B

男子優秀選手

敦賀高等学校 奥村 龍也

女子優秀選手

福井工大福井高等学校

有村のどか

令和元年度全日本少年少女 武道錬成大会(剣道)

令和元年七月二十・二十一日
於 日本武道館

七月二十、二十一日に令和元年度全日本少年少女武道錬成大会(剣道)が日本武道館において開催されました。

この大会は基本錬成に重点を置き二回戦までは「基本判定試合」という、切り返しと打ち込み稽古の内容を判定する試合と、「一本勝負」で勝敗を決める大会です。

丸岡剣道スポーツ少年団からは、六年生、五人が参加しました。結果は一回戦、長野県の岡谷市剣道協会Aと対戦し、基本判定試合は1-4、一本勝負試合は1-2で初戦敗退でした。

本大会に出場するにあたり、毎回基本判定試合に向けた稽古を行ってきました。初めはいい加減だった切り返しでしたが、稽古を重ねるうちに大きくしつかりとした打突ができるようになってきました。また、打ち込みも足を継がず打てるようになってきました。試合では緊張もあり、稽古の全てを出し切ることはできなかったのかもしれませんが、監督として元立ちをしていた感想としては、子供たちは、元気よく思いっきり試合に臨んでいたと思います。

試合には負けて悔しい思いをしましたが、子供たちは大きく成長しました。また、全国の選手の良いところを間近で見ることができ大変勉強になりました。今回の経験を、これからの稽古に生かして頑張ります。

丸岡剣道スポーツ少年団
監督 吉田 裕孝
先鋒 奥平 大貴(六年)
次鋒 下水流 鋭度(六年)
中堅 倉本 つばさ(六年)
副将 内田 達基(六年)
大将 下 寛人(六年)

丸岡剣道スポーツ少年団 吉田裕孝



敦賀市剣道スポーツ少年団の子供達はこの大会に初めて出場しました。来年度はオリンピックが開催される為この大会は開催されません。

そこで、子供達、保護者が「日本武道館で試合がしたい、させたい。」という思いがあり出場を決めました。出場を決めてからは毎日、基本稽古を重点にした練習をし、元立ちも指導者が行うため私達も出来るだけ子供達が思いっきり打ってこれるように努めました。

大会一週間前には滋賀県高島市で開催されている大会にも参加させて頂き、本番に備えました。課題が多く不安も残りつつ悔いの残らないよう日本武道館で元気に敦スポらしく思いっきり戦ってもらえれば良いと思います。

大会当日、対戦相手は東京都高島平警察少年剣道会様でした。不安もあつた基本錬成では今までで一番良い出来だったのですが、相手が一枚も二枚も上手でした。続いて一本勝負では、基本錬成の結果を引きずってしまい自分達の持ち味を出せないまま初戦敗退に終わりました。

しかし、子供達はこの大舞台で一つも二つも成長をしてくれたと思います。指導者としても基本の大切さ、残心の大切さを改めて勉強させて頂きました。

この大会まで一生懸命に稽古してきた事は絶対に無駄にはならないと思いますし、この経験した事が何かの糧になると思います。暑い中でしたが子供達は大変良く頑張りました。

村井 達弥 記

敦賀市剣道スポーツ少年団

- 監督 村井 達弥
- 先鋒 出口 慧 (五年)
- 次鋒 田中 十愛 (五年)
- 中堅 南 安音 (六年)
- 副将 佐藤 大晴 (五年)
- 大将 縄間 友翔 (五年)



第57回福井県中学校夏季総合競技大会兼、19県民スポーツ祭

中学生の部 剣道競技

令和元年七月二十一日(日)

～二十二日(月)

於 福井県立武道館

○男子団体

優勝 明倫中学校

(2年ぶり3回目)

二位 三方中学校

3位 鯖江中学校

3位 南越中学校



○女子団体

優勝 南越中学校 (初優勝)

二位 中央中学校

三位 明倫中学校

三位 三方中学校

○全学年男子個人

優勝 西山 幸佑 (中央中)

二位 崎元 蓮太 (三方中)

三位 宇野 竜明 (南越中)

三位 山本 峻仁 (南越中)



○2学年男子個人

優勝 西村 壮優 (丸岡南中)

二位 三崎 敬汰 (東陽中)

二位 藤井 玲空 (松陵中)

三位 松岡 巧 (藤島中)



○1学年男子個人

優勝 山下 慶也 (武生第六中)

二位 山本 天晴 (越前中)

三位 竹澤 陽 (松岡中)

三位 筧 翔太郎 (三方中)



○全学年女子個人

優勝 龍田 遥夏 (南越中)

二位 井上 楓 (鯖江中)

三位 宮本 沙彩 (大東中)

三位 大島 光結 (春江中)

○2学年女子個人

優勝 中山 実桜 (明倫中)

二位 江戸 紗耶 (三方中)

三位 杉原 歩佳 (東陽中)

三位 大橋 朱里 (中央中)



第66回全国高等学校剣道大会

令和元年八月三日(土)

～六日(火)

於 熊本県立総合体育館

○男子団体

敦賀 1―3 横浜(神奈川)

敦賀 2―2 履正社(大阪)

1敗1分(予選リーグ敗退)

○1学年女子個人

優勝 西山 実咲(中央中)

二位 忠住 理子(松岡中)

三位 水波 亜瑚(金津中)

三位 青木 優花(中央中)



○女子団体

敦賀 0―5 須磨学園(兵庫)

敦賀 2―2 小牛田農林(宮城)

1敗1分(予選リーグ敗退)

○男子個人

中村 翔太郎(敦賀)

二回戦 小野洋介

西澤 朋希(北陸)

一回戦 松尾雅弘

一回戦 廣島皆実・広島

○女子個人

奥村 莉菜(美方)

二回戦 朝田萌香

三回戦 長堀美苗

一回戦 伊藤風侑

一回戦 宮城瑠佳

二回戦 興南・沖繩



19県民スポーツ祭 剣道競技「市町対抗の部」

令和元年八月四日(日)

於 福井県立武道館

成年男子の部

優勝 鯖江市A

準優勝 福井市A

第三位 福井市C

越前市A

成年女子の部

優勝 敦賀市A

準優勝 福井市B



壮年男子の部

優勝 敦賀市A (4年連続)

準優勝 坂井市A

第三位 敦賀市B

あわら市

第三位 福井市C

福井市A



壮年女子の部

優勝 坂井市B

準優勝 坂井市A

第三位 あわら市
第三位 敦賀市

熟年男子の部

優勝 南越前町
準優勝 越前市
第三位 福井市
第三位 あわら市



第40回北信越中学校剣道大会

令和元年八月八日(木)
於 新発田市カルチャーセンター
(新潟県)

○男子団体

優勝 宇ノ気中学校(石川)
二位 小針中学校(新潟)
三位 燕中学校(新潟)
三位 明倫中学校(福井)

(本県出場チームの結果)

予選Aリーグ 三方中 0勝3敗
四位 予選リーグ敗退
三方 0 | 4 燕(新潟)
三方 0 | 1 佐久長聖(長野)

三方 0 | 2 富大附属(富山)
予選Bリーグ 明倫中 2勝1分
一位 決勝トーナメント進出

明倫 1 | 1 鳴和(石川)
明倫 2 | 2 川中島(長野)
明倫 3 | 1 新潟第一(新潟)
予選Dリーグ 鯖江中 0勝3敗
四位 予選リーグ敗退

鯖江 1 | 2 宇ノ気(石川)
鯖江 1 | 4 奥(富山)
鯖江 1 | 2 下(新潟)
決勝トーナメント
準々決勝
明倫 4 | 1 富大附属(富山)
準決勝
明倫 0 | 2 小針(新潟)



○女子団体

優勝 宇ノ気中学校(石川)
二位 松代中学校(長野)
三位 奥田中学校(富山)

三位 柳町中学校(長野)

(本県出場チームの結果)

予選Aリーグ 中央中 2勝1敗
二位 決勝トーナメント進出
中央 1 | 2 北辰(新潟)
中央 2 | 1 下條(長野)
中央 1 | 0 羽咋(石川)
予選Bリーグ 南越中 0勝3敗
四位 予選リーグ敗退
南越 1 | 2 奥田(富山)
南越 1 | 2 柳町(長野)
南越 0 | 2 直江津東(新潟)
予選Dリーグ 明倫中 2敗1分
四位 予選リーグ敗退
明倫 0 | 0 井波(富山)
明倫 0 | 4 宇ノ気(石川)
明倫 0 | 2 長岡東北(新潟)
決勝トーナメント
準々決勝
中央 1 | 4 柳町(長野)

○男子個人

優勝 今村哲太(宇ノ気・石川)
二位 長谷川秀馬(燕・新潟)
三位 石田大晴(宇ノ気・石川)
三位 牧野航大(奥田・富山)

(本県出場選手の結果)

1回戦
崎元蓮太(三方) 下 |
渡邊義弘(小針・新潟)

守 大翔(中央) × |

宇野竜明(南越)

山本峻仁(南越)

城田海響(鯖江)

西山幸佑(中央) コ |

2回戦
崎元蓮太(三方) |

コメ 石田大晴(宇ノ気・石川)

守 大翔(中央) |

反メ 今村哲太(宇ノ気・石川)

西山幸佑(中央) |

メ 牧野航大(奥田・富山)

○女子個人

優勝 北澤毬乃(松代・長野)
二位 横山 雅(宇ノ気・石川)
三位 長澤彩紗(吉川・新潟)
三位 田中花鈴(小池・新潟)

(本県出場選手の結果)

1回戦
龍田遥夏(南越) |
山田優生(南越) 下 |
大島光結(春江) |
上井夏穂(宇ノ気・石川) ×

- 井上 楓 (鯖江) |
- メ 近藤咲紀 (坂城・長野)
- 下中沙友 (明倫) |
- メメ 北澤毬乃 (松代・長野)
- 宮本沙彩 (大東) |
- メ 栗原那知 (石山・新潟)
- 2 回戦
- 山田優生 (南越) |
- メ 横山 雅 (宇ノ気・石川)

第49回全国中学校剣道大会

令和元年八月二十二日(木)

二十三日(金)

於 丸善インテックアリーナ大阪

男子団体

- 予選リーグ
- 明倫中 0勝2敗 3位 予選リーグ敗退
- 明倫中 0-2 満濃中 (香川)
- 明倫中 2-3 河北中 (鳥取)

女子団体

- 予選リーグ
- 南越中 0勝2敗 3位 予選リーグ敗退
- 南越中 0-2 鏡野中 (岡山)
- 南越中 0-3 生目中 (宮崎)

男子個人

- 1 回戦
- 崎元蓮太 (三方中) メ |

- 福森陽人 (和光中・北海道)
- 西山幸佑 (中央中) メ |
- 水元龍輝 (角野中・愛媛)
- 2 回戦
- 崎元蓮太 (三方中) 延メ |
- 岡本啓汰 (香芝中・奈良)
- 西山幸佑 (中央中) メ |
- 駒井颯次郎 (玉穂中・山梨)
- 3 回戦
- 崎元蓮太 (三方中) |
- 延メ 鈴木大輝 (保土ヶ谷中・神奈川)
- 西山幸佑 (中央中) |
- コ 内田雄敬 (春日野中・福岡)

女子個人

- 1 回戦
- 井上 楓 (鯖江中) |
- メ 野崎 栞 (日章中・北海道)
- 2 回戦
- 龍田遥夏 (南越中) |
- 延メ 森川紗那 (島原二中・長崎)

第40回北信越国民体育大会

令和元年八月二十五日(日)

於 金沢市総合体育館

少年男子が1位となり、九月二十九日から開催される茨城国体の出場を決めました。

成年女子

- 一位 新潟県 (本国体出場)

- 二位 福井県
- 三位 石川県
- 四位 長野県
- 五位 富山県
- 福井3-0 富山
- 福井3-0 石川
- 福井2-1 長野
- 福井1-2 新潟

少年男子

- 一位 福井県 (本国体出場)
- 二位 石川県
- 三位 新潟県
- 四位 富山県
- 五位 長野県
- 福井5-0 長野
- 福井3-2 石川
- 福井4-1 富山
- 福井1-4 新潟

少年女子

- 一位 石川県 (本国体出場)
- 二位 新潟県
- 三位 福井県
- 四位 長野県
- 五位 富山県
- 福井4-1 富山
- 福井2-3 新潟
- 福井2-3 石川
- 福井4-1 長野

第48回 福井県少年少女

剣道錬成武生大会

令和元年八月二十五日(日)

於 武生中央公園総合体育館

団体試合成績

- 優勝 越前少年剣道クラブ
- 次勝 鯖江剣道入部1ツ少年団
- 三位 鯖江志士樹館道場
- 三位 福井養正館



男子個人試合成績

- 四年生以下A
- 優勝 糊谷 龍星 養正館
- 次勝 荒木 駿平 越前少剣ク
- 三位 林 大悟 福井少剣ク
- 三位 中荒江圭市 鳥羽ス少剣

四年生以下B

- 優勝 明石 尚大 織田劍少
- 次勝 尾崎 直統 森田少剣教
- 三位 安達 丈留 木田劍少
- 三位 奥平 貫示 丸岡劍少

四年生以下A	女子個人試合成績	六年生	優勝	山本 紀仁	王子保ス少剣	優勝	高松 夏鈴	養正館
四年生以下B		優勝	中山 杏実	みのり剣少	優勝	島田樹衣那	王子保ス少剣	
四年生以下C		次勝	木村 珠緒	武生南剣少	次勝	守 彩花	鯖江剣少	
四年生以下D		三位	廣中 夏	吉川ス少剣	三位	向井 結衣	敦賀剣少	
優勝	佐々木海緒	今立道場	優勝	塚田 穂乃	志士樹館	優勝	高松 夏鈴	養正館
次勝	寺前 秀朔	木田剣少	次勝	和彗田流雫	武道学園剣教	次勝	島田樹衣那	王子保ス少剣
三位	野尻 新	五常館	三位	白崎菜々美	五常館	三位	守 彩花	鯖江剣少
三位	縄間 太智	敦賀剣少	三位	岡井 陽菜	吉川ス少剣	三位	向井 結衣	敦賀剣少
優勝	窪田 圭佑	鯖江剣少	優勝	塚田 穂乃	志士樹館	優勝	高橋 華音	森田少剣教
次勝	奥田 心道	養正館	次勝	和彗田流雫	武道学園剣教	次勝	杉本 咲	春江少剣教
三位	橋詰 碧	越前少剣ク	三位	白崎菜々美	五常館	三位	佐野 一恋	五常館
三位	竹島緋夏汰	福井少剣ク	三位	岡井 陽菜	吉川ス少剣	三位	森谷 栞帆	王子保ス少剣
優勝	若林 圭	志士樹館	優勝	塚田 穂乃	志士樹館	優勝	高橋 華音	森田少剣教
次勝	吉田光太郎	劍誠館	次勝	和彗田流雫	武道学園剣教	次勝	杉本 咲	春江少剣教
三位	松井 翔汰	松岡少剣教	三位	白崎菜々美	五常館	三位	佐野 一恋	五常館
三位	高山 煌	江守の里	三位	岡井 陽菜	吉川ス少剣	三位	森谷 栞帆	王子保ス少剣

五年生	優勝	中山 杏実	みのり剣少
次勝	木村 珠緒	武生南剣少	
三位	廣中 夏	吉川ス少剣	
三位	佐野寿々代	五常館	



四年生以下B	優勝	塚田 穂乃	志士樹館
次勝	和彗田流雫	武道学園剣教	
三位	白崎菜々美	五常館	
三位	岡井 陽菜	吉川ス少剣	

第58回全日本女子選手権大会

令和元年九月八日(日)
 於 ホワイトリング
 長野市真島総合スポーツアリーナ

一回戦	大西ななみ	メ	萩原由佳子(群馬)
二回戦	〃	反	森岡実佳(高知)
三回戦	〃	ド	妹尾舞香(福岡)
四回戦	〃	ー	松本弥月(神奈川)

一回戦は、萩原選手(群馬)との対戦で延長戦に入り小手返し面勝利。
 二回戦は、森岡選手(高知)との対戦で、十五分を越える延長戦の末、反則で勝利した。
 三回戦では、母校の後輩でもある、妹尾選手(福岡)と対戦し延長戦に入り、鏝競り合いで相手の手元が浮いたところの引き胴を決めた。
 四回戦では、去年の大会でも三回

第14回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会

令和元年九月十五日(日)
 於 丸善インテックアリーナ(大阪市中央体育館)
 去る本年九月十五日(日)丸善インテックアリーナ(大阪市中央体育館)において、第14回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会が開催され、「小学生の部」に出場した。
 小学生の部では、本年七月六日(日)福井県立武道館多種目において、第三次福井県選抜選手選考会を開催し、その結果、第一位・矢田部 眺(越前少年剣道クラブ)、第二位・伊藤児太郎(木田剣道スポーツ少年団)、第三位・下寛人(丸岡剣道スポーツ少年団)、第四位・堀登真(鯖江剣道スポーツ少年団)、第五位・

戦で対戦した松本選手(神奈川)と対戦。延長戦に入り、面に飛んだところを小手を抑えられ敗退した。
 結果としてはベスト8で残念な結果ではあったが、全試合が延長戦という厳しい戦いを勝ち抜くことができ、納得できる試合内容であったと思う。この大会で得たことをこれからの大会でも活かしていけるよう、今まで以上に精進していきたい。
 大西 ななみ

伊藤彬（王子保スポーツ少年団剣道部）以上五名が本大会に出場することとなった。

大会までの約二か月半、選手たちはチームワークを高めること、各自のレベルアップを図るため週二回の強化稽古、所属クラブでの稽古と、ほぼ毎日竹刀を握り精進した。

五人が揃って初めて試合をしたのは、毎年、富山県で開催される小学生夏期優秀チーム招聘剣道強化合宿だった。この合宿は、北信越五県に滋賀県の代表が参加し、二日間にかけて試合を行う。最初の総当たりリーグ戦では各県の代表チームのレベルの高さに驚き、自分たちの思うような試合ができず最下位だった。その後も苦戦が続いたが、今できることを全てやっつていこうと、各自が考え行動した。その結果、二日目は勝つこともできるようになった。この二日間得た経験を活かし、その後の稽古からは課題を明確にし、弱点克服に向け努力を続けた。

大会前日には、大会会場にて稽古として、代表チームとの練習試合を行った。

全国大会に初めて出場する者もあり、最初は会場の大きさ、他県の選手の高さに圧倒されていたが、徐々に冷静さを取り戻しつつあった。しかし、満足できる内容、結果

が出ず、不安を抱えながら会場を後にし、翌日の試合に備えることにした。

このような状況においても、今年の五人は、とても明るく元気で、チームワークもよく、本番に向かつて行った。

本大会予選リーグにおいては、徳島県、岩手県と同じ組となった。初戦の徳島県との試合は、開会式直後の第一試合目だった。緊張感があったものの、先鋒の伊藤児太郎が終了間際に面を奪い勝利すると、次鋒の伊藤彬、中堅の矢田部暁、副将の堀登真が引き分けて繋ぎ、大将の下寛人へ。大将戦は、開始早々危ない場面はあったが、そこを凌いだ下選手は中盤でコテを決め、そのまま終了し勝利した。

予選リーグ二試合目の岩手戦はともに一勝同士だったが、勝者数で負けている状況だった。選手たちは勝ちたい気持ちと同様に、負けられない気持ちから慎重な試合内容で先鋒から副将まで引き分けて大将戦を迎えた。気合十分の大将下選手。勝利を目指し、開始の合図から果敢に攻め込みコテで先制。しかしながら、相手の猛攻に受けに回ってしまいメンを奪われる。その後、必死に攻め込み、相手に反則が与えられる展開になったが、最後は勝負に行つたと

ころの相面で、一瞬相手が早く敗退が決定した。

目標の予選リーグ突破は叶わなかったが、チーム結成当初は一勝することとが難しい状況の選手たちが、全国ベスト16まであと一歩というところまで成長した。稽古での苦しさ、勝てない悔しさ、そんな中でも努力を続けてきたからこそ成長できたのだと思う。

これからも、この経験を活かし、努力を続け、さらにレベルアップを期待したい。

選手を支えていただいた関係者の皆様方のご尽力に対して、深く感謝申し上げます。

(記 塚田直人)

○中学生の部

予選リーグ	
福井県 0 / 0	1 / 1 愛媛県
龍田	× 小田
井上	× 白石
崎元	× 山下
西山	× コ 西山
宇野	× 川崎
福井県 2 / 1	1 / 1 岩手県
龍田	メ コ 佐々木
井上	× 柳田
崎元	× 八木
西山	メ 坂本

宇野 × 桐野

決勝トーナメント進出決定戦(代表戦)

福井県 岩手県
崎元 メ | 桐野

決勝トーナメント1回戦

福井県 1 / 1	5 / 3 長崎県
龍田	メ 森川
井上	メ 永井
崎元	× 扇
西山	コ 富田
宇野	メ 山口

ベスト16 (2年連続)

○小学生の部

予選リーグ	
福井県 2 / 2	0 / 0 徳島県
伊藤児	メ 宮田
伊藤彬	× 多田
矢田部	× 平松
堀	× コ 四宮
下	コ 井上
福井県 1 / 0	2 / 1 岩手県
伊藤児	× 八木
伊藤彬	× 岩館
矢田部	× 継枝
堀	× コ メ 高藤
下	コ メ 佐藤

予選リーグ敗退

第74回国民体育大会

いきいき茨城ゆめ国体

令和元年九月二十九日(日)
～十月一日(火)

於 下館総合体育館

九月二十九日～十月一日に茨城県筑西市の下館総合体育館において、第74回国民体育大会 いきいき茨城ゆめ国体剣道競技が開催されました。本県から出場した少年男子、成年男子チームの試合結果は次のとおりです。

○少年男子 一回戦

福井1/0	5/4北海道
先鋒 西澤	ド メコ 津田
次鋒 田崎	メ 石川
中堅 内田	ド 花田
副将 中村	小田
大将 梅田	ド 濱田

○成年男子 二回戦

福井2/1	6/3熊本
先鋒 谷口	メ メ 曾我
次鋒 林田	メコ 西村
中堅 鈴木	メ 小川
副将 小辻	ココ 益田
大将 柳原	今村

みんなの広場

剣道部・クラブ紹介

今庄剣道スポーツ少年団

私たちが今庄剣道スポーツ少年団は、現在10人で活動しています。

ご存知の方もおられると思いますが、私たちの住んでいる今庄という地域は、昔から剣道が盛んに行われています。今でも試合などがあると、老若男女たくさんの方が集まり剣を交えています。

しかし、剣道経験者は多いものの人口減少にともない年々剣道を始めようという子供たちは少なくなってきています。

そこで私たちは、南条地区剣道連盟と連携して新しい取り組みを行おうとしています。

剣道経験者であっても今は剣道から疎遠になっていく人や、剣道には興味はあなが敷居が高そうでなかなか勇気が出ないという人、子供に何かスポーツ(武道)

をさせたいが何がいいかわからないと感じている方などたくさんの方に剣道のおもしろさを知ってもらおう機



会を作ろうと計画しています。まだ計画段階ですがぜひ実現したいと考えています。

これから、たくさんの方に剣道のよさを知ってもらい、今庄だけでなくより広い地域で剣道の楽しさ、素晴らしさが広がってほしいと思います。

剣道 称号段位合格者

居合道段位審査会

令和元年八月四日(日)
於 石川県立武道館

令和元年度の段位審査会が開催され、福井県剣道連盟より審査受審を許可された六名の会員が審査に臨みました。

午前中に石川県剣道連盟主催の講習会に参加し、午後実技と記述試験を受け、受審者六名は、全員合格しました。

「五段」

長谷川 翔平 (勝山市)
奥田 博之 (鯖江市)

「四段」

齋藤 聖也 (福井市)
平山 聡 (越前市)

「三段」

山本 なつみ (越前市)
清家 佑華 (福井市)

剣道段位審査会

令和元年八月十一日(日)
於 敦賀市中郷体育館

「初段」 三十八名

東海 来夏 (気比中一年)
小林 勇輝 (栗野中一年)
山本 天晴 (越前中一年)
丸谷 亮仁 (栗野中一年)
熊谷 龍馬 (三方中二年)
藤田 蓮人 (栗野中二年)
笠嶋 和貴 (武生中二年)
谷口 礼 (武生中二年)
武長 孝要 (三方中二年)
山田 晃暉 (武生中二年)
栗原 未来 (気比中三年)
寺井 愛翔 (小浜中三年)
八木 駿一 (警察官)
林田 虎太郎 (警察官)
上木 忠朋 (警察官)
大村 峻介 (警察官)
五十嵐 哲斗 (警察官)
竹内 太一 (警察官)
近藤 智樹 (警察官)
山崎 智之 (警察官)
出藏 将吾 (警察官)
小林 誠幸 (警察官)
酢谷 幸生 (警察官)
水口 諒 (警察官)
橋詰 みゆ (三方中二年)
水上 愛梨 (足羽中二年)

「貳段」

八名

清水 健介 (朝日中三年)
佐々木 学道 (東陽中三年)
柳川 幸輝 (敦賀気比高一年)
山下 慶士 (敦賀気比高一年)
中村 圭輔 (敦賀気比高一年)
水上 和真 (敦賀気比高一年)
中尾 拓斗 (藤島高二年)
村中 莉子 (敦賀気比高二年)

「参段」

八名

内藤 翼 (敦賀気比高二年)
富田 快斗 (藤島高二年)
水上 晴貴 (敦賀気比高二年)
寺前 寛一 (北陸高二年)
竹内 亮輔 (北陸高二年)
松山 敬介 (北陸高三年)
千田 智大 (美方高三年)
北 沙璃亜 (福井商業高三年)

「四段」 六名

福崎 ひかり (福井工大三年)
野瀬 涉 (福井工大四年)
迎田 真由 (福井工大四年)
高野 将宏 (警察官)
能美 裕樹 (会社員)
中辻 楓 (福井工大三年)

称号・六段以上合格者

令和元年八月十八日(日)

剣道六段 橋本 一美(坂井)



ペンリレー

女性剣士の部屋

敦賀市剣道連盟 堤 腰 琴 菜

「君たちが高校三年生になったときに開催される福井国体で全国優勝しなさい。」

そう告げられたのは、小学生の時でした・・・。

私は小学1年生から剣道をはじめました。きっかけは剣道の道場の指導者をしている父で、気づけば剣道を始めていました。道場では4人の女子の仲間が来ました。剣道は男性の競技人口が多い中、私たちは女子4人で勝負に挑むわけですが、勝負の世界は厳しく、女子の力ではなかなか試合に勝てないことを痛感させられたことを覚えていきます。

そこから私たちは、がむしゃらに練習に取り組みました。相手が男だろうと関係ありません。今思えば、勝つためにがむしゃらになるその姿は、どんな男性よりも男性らしかったのではないのでしょうか。

その頃です、冒頭の言葉を言われたのは。それが初めて「全国制覇」の夢を掲げた時でした。しかしその頃は、「全国制覇」なんて言われても、覚悟も、使命の重大さも、これから待ち受ける試練も、何も知りませんでした。

6年生の時には、1人が加わり生涯の仲間となる5人が集結し、5人で試合に出る機会が多くなりました。私たちは女子ばかりのチームでしたが、燃えるような闘争心と女子ならではの粘り強さで、次第に男性ばかりの表彰台に食い込んでいくようになりました。中学校は別々の中学校ではありませんでしたが、部活後の道場の稽古ではお互いが切磋琢磨し、また仲間としての意識もさらに強くなりました。

そして勝負の舞台である高校へと進学したのですが、一つの大きな目標を掲げ、その目標を達成するために私

たち5人は同じ高校で一つとなりました。学年が上がるにつれ、多くの期待が私たちにプレッシャーとしてのかかりました。初めて「全国制覇」という言葉の重みと覚悟を知り、何をやってもうまくいかない日々が続ぎ、投げ出したくなる時もありました。しかし「全国制覇」という目標があつたからこそ仲間とともに苦しみ、もがきながらも前に進むことが出来たのだと思います。

待ちわびた「福井しあわせ元気国体」の当日、地元の方々の期待と応援、今まで関わってきたほとんどの方々が私たちの味方です。そして9年をかけて鍛えてきたという自信、今までやってきたことのすべてが私の頭の中で回っていました。試合場に立てば私と相手しかいない恐怖。それを打ち消す割れんばかりの声援。正直、試合の途中のことはあまり覚えていません。しかし、終わった瞬間、会場全体が歓喜にあふれていました。そこで私は初めて「全国制覇」を実感することが出来ました。

ここまでの道のりは険しくいつ諦めてもおかしくなかったらと思うます。でも諦めなかった、それは私が一人居やなかつたからです。支えてくれた両親、導いてくださった先生方、手を差し伸べてくれた仲間たち、声援で勇気と力を与えてくれた県民の皆様、そのほかにもたくさんの方々との出会いがありました。感謝の一言です。

この恩返しをしたく私は大学という新しい道を選びました。次の目標はもう一度「全国制覇」です。感謝の気持ちを忘れず頑張ります。



【福井県剣道連盟事務局に質問などをお寄せください】

宛先 福井県剣道連盟 〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18 サンライズ二の宮1-B
 メールアドレス fkikendo@herb.ocn.ne.jp TEL・FAX(0776)28-6616